

大阪の文化と歴史シリーズ

水の都“大阪”、先人たちの水への挑戦

かつて大阪では、1885(明治18)年「明治大洪水」のような河川の氾濫が頻発し、そのたびに洪水や高潮の被害、大阪港の土砂堆積、伝染病の大流行が起きました。また1890(同23)年には「新町焼け(西区)」と呼ばれる大火災で多くの人々が亡くなっています。これらを契機に、淀川の改良工事や施設建造、良好な飲料水の提供と消防力の強化のための上水道の設備などが急務となりました。

今回のぶらトークは、水都“大阪”の治水や利水に挑戦した先人たちのお話です。



← 淀川 毛馬
大堰、排水機場、水門、閘門

【日時】 2023年2月9日(木) 10時~12時

【場所】 大阪市立 中央区民センター 3階 第2, 3会議室

・ 大阪メトロ 堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3号出口東へ徒歩2分

【講師】 山内啓子(大阪公立大学講師)

【参加費】 500円(資料、会議室・機器使用料)

参加費の一部を、公益財団法人 チャイルドケモ・サポート基金に寄付いたします

【定員】 42人

【参加申込】 ホームページの申込フォームから



※ 新型コロナウイルスの感染防止のため、収容人数(84人)の半数で締め切らせていただきます。

※ 状況によってはイベントをやむを得ず変更または中止する場合がありますので
あらかじめご了承ください。

NPO 法人 大阪ウォーク・トーク

E-mail osaka.walktalk@gmail.com

ホームページ <https://osakawalktalk.org/>

右のQRコードを読み取る、あるいはURLを入力しホームページへ

